

令和7年度第1回「しがこども体験活動指導者研修会」を開催しました

令和7年5月28日（水）、滋賀県庁にて、子どもの体験活動に関わる団体、施設、指導者等が一堂に会し、講演や意見交換等を通して、子どもの体験活動の充実と支援者のスキルアップを図ることを目的に、令和7年度第1回「しがこども体験活動指導者研修会」を開催しました。会場参加者19名、オンライン参加者25名、合計44名の参加がありました。

研修会では、自然体験活動安全管理マニュアル作成の手引きについての説明、クラブアトラクション理事長 田中 洋一 氏を講師にお招きし、「子どもたちが主体的に取り組むことができる体験活動の充実に向けて～子どもが主役になる体験活動の作り方～」と題した講演、参加者同士の意見交換を行いました。



日 程	内 容
13：10	受 付（オンライン接続開始）
13：30	開会行事 開会あいさつ 日程説明
13：40	説 明：自然体験活動安全管理マニュアル 作成の手引きについて
13：50	講演「子どもたちが主体的に取り組むことができる体験活動の充実に向けて～子どもが主役になる体験活動の作り方～」 講師：クラブアトラクション 理事長 田中 洋一氏
15：05	休 憩
15：15	グループ交流、活動等の情報交換
15：45	グループより発表 講師より助言
16：00	閉 会

<講演の様子>

「子どもたちが主体的に取り組むことができる体験活動の充実に向けて～子どもが主役になる体験活動の作り方～」

自然体験活動や町探検、子ども食堂、集団遊び、農業体験などに取り組まれている田中様から、子どもたちが主体的に取り組むことができる体験活動を実施するため、どのようなことに配慮すればよいかご講演頂きました。ご自身の経験や団体での取り組み、具体的な事例を紹介して頂きながら、大変分かりやすく説明して頂きました。「子どもを主体、子どもを真ん中にする社会ということが言われるが、子どもを主体、子どもを真ん中にするとは、どういうことか。」という投げかけが講演の初めの方にあり、主体的に考えながらお話を聞いておられた参加者が多かったのではないのでしょうか。

子どもと大人の間の若者という存在の大切さ、子どもが心理的安全性を感じることができる環境の大切さ、「安心・信頼・役割・挑戦」が子どもたちが主体的に活動する中で大切だと考え、プログラムを工夫して考えておられることなどを教えて頂きました。



<参加者同士の情報交換の様子>

講演後は、参加者同士4人のグループになって、自団体の紹介や今日の学び、活動する中で感じる悩みや工夫していることなどを話題に、交流して頂きました。子どもの安全はもちろんだが、大人の安全を確保することも大切、アレルギー等の対応に苦慮しているなどの意見が出ました。



<参加者アンケート>

参加いただいた皆様のアンケートの一部を紹介します。

講演「子どもたちが主体的に取り組むことができる体験活動の充実に向けて～子どもが主役になる体験活動の作り方～」について

- ・ 子どもたちに話を聞くなど、何もしなければ始まらないということがよくわかった。もっともっと子どもたちに接し、今後の活動に生かしていきたい。子ども、大人にかかわらず、話をすること聞くことの大切さを痛感した。自分たちも楽しく活動するというのは、とっても大事だと思う。
(青少年育成学区民会議)
- ・ 心理的安全性、子どもたちが子どもたちの中で安心して活動できる、対人能力を上げていく、いごこの良さの大切さ、コミュニケーションをとる大切さ、関係性の中で育つ主体性、色々な大切な事を学べてよかった。
(市町教育委員会、公民館・施設関係者)
- ・ “子どもの自己肯定感をあげられるように”というのは日頃の課題だったので、話が聞けてよかった。プロジェクトアドベンチャーという言葉は初めて聞いたが、成功体験を重ねていくだけではなく、一緒に試行錯誤したりすることも、心を繋ぐのに大事なことで分かったので、ひとつひとつの活動を大切にしていきたいと思った。
(こども園)

情報交換について

- ・ 他の事業所の方との交流で今後の活動にプラスになると思いました。(まちづくりセンター)
- ・ 似た悩みを共有できたのは良かったです。「子どもが楽しむ前に大人が楽しむ」というのが大事だと再認識しました。(官公庁)
- ・ 他施設の活動が知れてよかった。(しがこども体験学校登録団体)

すまいる・あくしよんの取組を広げよう！



【子ども】わくわく感動する気持ちを持つ

【おとな】文化・芸術・自然・社会に触れる体験を増やす